



NRU NEWS

No 270
2009年4月21日
発行責任者 平山芳夫
編集責任者 吉澤英夫

JR不採用事件 東京高裁判決報告集会を開催

「雇用・年金・解決金」を柱に一日も早い政治解決を！！

国鉄闘争支援県共闘会議と地方本部は、4月14日、県労働会館において「JR不採用事件・東京高裁判決報告集会」を開催した。主催者を代表して県支援共闘会議・高橋博久議長のあいさつではじまり、長野地区支援共闘会議・神山勝議長から3月7日～9日に行なわれた紋別・美幌闘争団への現地激励行動の報告がされた。「通常、市といえば鉄道があるものだと思っていたが、廃線されていて存在しない。闘争が解決したとしても、働く場が無い中で厳しいなと感じた。家族も含めた交流ができた。今後もつながりを大切にしていきたい」と述べた。



つづいて、国労闘争団全国連絡会議・小野浩二副議長から、3月25日に出された鉄建公団訴訟東京高裁判決の報告を受けた。「判決の内容としては、①不当労働行為を認定 ②東京地裁の時効棄却判決を否定 ③慰謝料50万円アップ(550万円) ④南裁判長がこの判決を契機に1047名の早期解決を望みますと付け加えた、という中身だが、解雇

は有効ということで不当判決である。もう一度鉄道の仕事がしたい、もどりたい。このまま裁判で闘っても解雇撤回はできない。解雇撤回には政治解決しかない。4党合意の時の不信感は払拭された。みんなで一律した解決を望んでいるし、全体に浸透している。さらに団結して頑張る」と決意を込めて述べた。

3名から決意表明を受け、最後に長野地区支援共闘会議・高橋洋副議長の団結がんばろうで閉会した。



高裁判決の報告等をする
小野副議長



北海道激励行動の報告
をする神山議長